

新湘南バイパス

横浜湘南道路・さがみ縦貫道路・西湘バイパスをつなぎ、湘南地区の渋滞を緩和します。

横浜湘南道路と西湘バイパスを一つにつなぎ、湘南地域の渋滞緩和を図るほか、圏央道の一部となって広域的な高速交通ネットワーク網を形成する道路です。

■事業位置図



■計画の概要

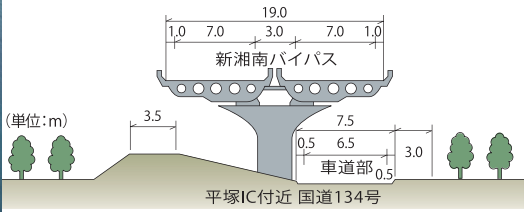
計画区間	藤沢市城南3丁目～中郡大磯町大磯
規格	第1種第3級
設計速度	80km/h
延長	約15.1km
車線数	4車線

令和6年度の事業

調査設計を推進します。



■標準横断面図



DX コラム: インフラDX(デジタルトランスフォーメーション)の取り組み

インフラDXとは、インフラへの国民理解を促進すると共に、安全・安心で豊かな生活を実現のため、データとデジタル技術を活用し、国民のニーズを基に社会資本や公共サービスの向上と、建設業界以外のインフラ関連産業の拡大により、業務、組織、プロセス、建設業や国土交通省の文化・風土や働き方を変革することです。

インフラ分野のDX(業務、組織、プロセス、文化・風土、働き方の変革)



横浜国道事務所では、インフラDXの中核の取組である、「i-Construction」を推進し、建設現場の生産性向上に取り組んでいます。

- ICT施工の実施 (ICT地盤改良工、ICT舗装修繕工等)
- 橋梁上部工にてBIM/CIMを活用し、施工計画の検討や設計照査の効率化

架設計画検討における活用

架設現地の点群データと架設ステップを再現したCIMモデルを統合し、工程を付与することで、架設工程の可視化、クレーンなどの配置計画の効率化につながった。

現地の点群データに橋梁のCIMモデルを統合

架設ステップをCIMモデルで再現

CIMモデルを活用したクレーン配置時の干渉確認

設計照査への活用

上部工や下部工のCIMモデルと付属物のCIMモデルを統合することにより、従来図面の照査では確認困難な干渉確認が可能となった。また、設計協議資料に活用することで、スムーズな協議につながった。

干渉箇所 (例: DR27ではZ1金具)

追浜駅交通ターミナル整備事業・交差点改良事業

国道16号追浜駅交通ターミナル整備事業は、分散するバス・タクシー乗降場の集約によるモーダルコネクト環境の整備を目的とした事業です。

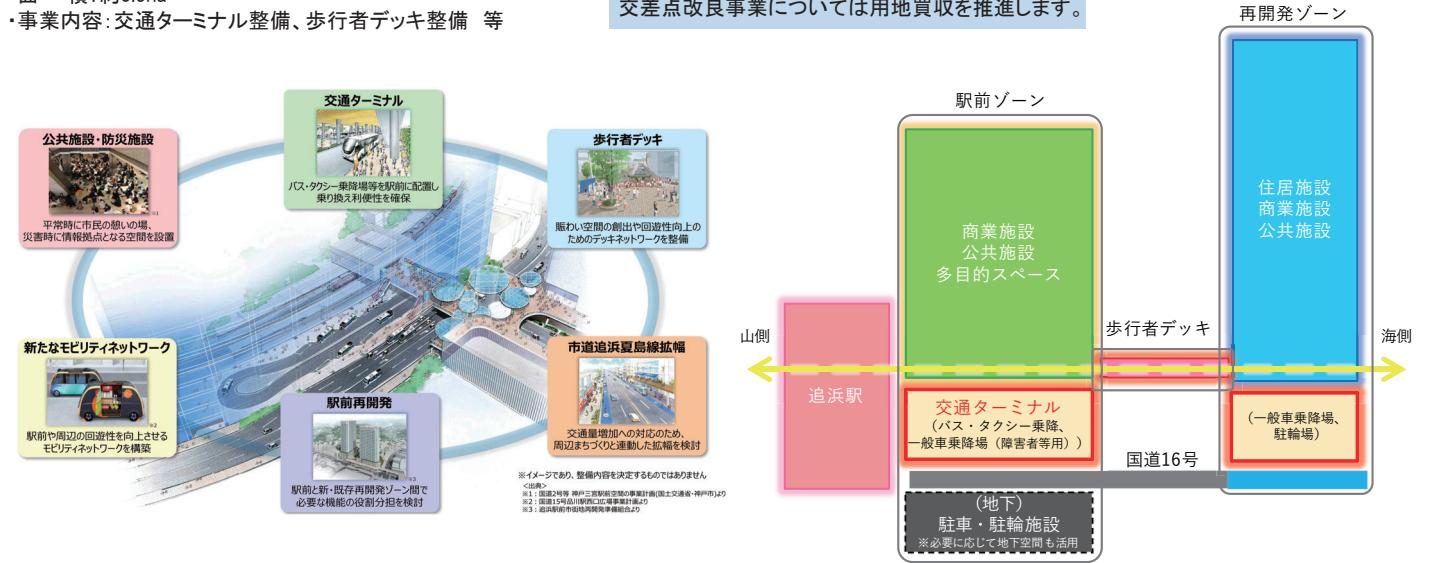
えき・まち・みちが一体となった空間を官民連携で具体化し、モーダルコネクト環境の整備や、駅周辺の混雑緩和・交通円滑化、回遊性の向上、賑わい・魅力向上、防災機能の向上のため、交通ターミナル整備及び国道上空の歩行者デッキ整備を進め、未来を見据えた駅前拠点を目指します。

【事業概要】

- 事業箇所: 神奈川県横須賀市追浜町3丁目～追浜本町1丁目
- 面積: 約0.5ha
- 事業内容: 交通ターミナル整備、歩行者デッキ整備 等

令和6年度の事業

交通ターミナル整備事業については調査設計、交差点改良事業については用地買収を推進します。

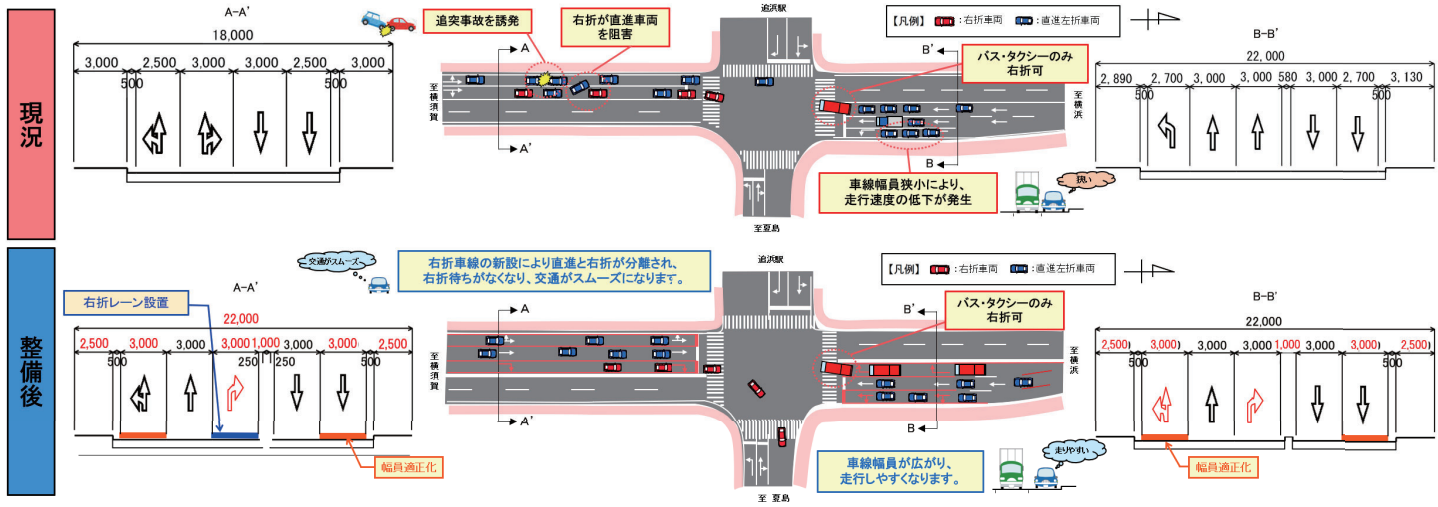


追浜駅交通結節点の将来の姿(イメージ)

施設配置計画
※イメージであり整備内容を決定するものではありません。

追浜駅前交差点改良事業

追浜駅前交差点に右折レーンを設置するとともに一部の車線幅員を広げることで、慢性的な混雑や追突事故等を緩和することを目的とした事業です。



※イメージであり、整備内容を決定するものではありません